

美高からトータル・サティスファクションの 実現を目指して

=====校長室より

第5号「ルールを守ることの先にあるもの」

生徒の皆さんには知らせていませんが、本日は広島市教育委員会健康教育課の方が来校され、ヘルメットの着用状況をご覧になりました。皆さんの姿に感心して帰られました。

先日の人権教育講演会の最後に生徒の皆さんにはつぎのような話をしました。

「注意されなければ、破ってもいい、ルールはありますか？」という話をすると、中にはこう答える人がいます。
「みんな破っているから。」この「みんな」がどのくらいの人を指しているのかわからないけれど、「みんながやっていること」＝「正しいこと」は必ずしも成立しないとまず理解したうえで、こんなふうに入任せにして生きていくことの危うさを知ってほしい。

本校は2年前から主体性を育成する教育目標を立てています。「どんな事も自分事として考えて、真に正しいかどうかを判断し、責任ある行動をとる力」が最上位目標となります。ヘルメット着用に限らず、まず今あるルールの意味を理解して、「責任ある行動」をとること、もしそれを改善する必要があると思うなら、それなりの「責任ある行動」をとること。これを主体性の発揮という観点で伝えました。

事故は一瞬。しかもたった一回で人の人生を変えてしまう。「注意されるから」ではなく、「自分のために」、つまり「自分や誰かを被害者、あるいは加害者にさせないために」このルールがあるということを彼らの中に染み入るまで対話を重ねていきます。ぜひ、保護者の皆様も、ご家庭でも話題にあげていただけると幸いです。

生徒の皆さんへ改めて伝えたいこと。美鈴が丘に限らず、皆さんの後から成長する子どもたちは美鈴が丘高校生を見ています。皆さんが率先垂範を重ねることで、この地域の文化にすることもできると考えています。こう考えると、「お手本を示すこと」は高校生としての「責任を果たす行動」とも言えます。主体性のある皆さんの力で社会を変えていきましょう。自分たちで、「ルールを守ること」の先にあるもっと大切なものに自分で気づき、リーダーとして行動してくれると私は信じてやみません。

↓ 1年生の教室に大切に掛けてあるヘルメットたち



↓ 生徒が手製で貼りだしてくれたポスターのひとつ

